ひとくどり
人来鳥

大野町立中小学校
コミュニティ・スクールだより
第５号
令和元年１１月１日

うぐいすの別名：地域の皆さんが地域の学校に集い共に子どもたちを育てていく願いを込めて

長年にわたり推進してきた地域道徳教育を足場に
中小学校道徳教育の研究実践を発表しました

１０月２５日、昨年度より大野町教育委員会の指定を受け取り組んできました道徳教育の研究発表会を行い、町内小中学校をはじめ多くの学校関係者の皆様にご参加いただきました。学校運営協議会委員の皆様にもご参観いただき、ＰＴＡ役員有志の皆様には運営のお手伝いにご協力いただきました。ありがとうございました。

「仲間とのかかわりを通して、よりよく生きようとする児童の育成」を研究テーマに、特別の教科道徳の授業改善を全学年で進めてきました。当日の公開授業では、担任教師と子どもたちが一体となって、目指してきた道徳授業を創り上げようと全力で頑張りました。そこには、生き生きと学習する子どもたちの真剣な眼差し、語り合う声、輝く笑顔があふれていました。成果を３点挙げます。

〇お話資料を場面絵やペープサートを準備して子どもたちに示すことで、お話の世界に入り込み登場人物の気持ちを考えることができた。
〇子どもの発言に対して教師が適切に問い返し、黒板に分かりやすくまとめることで、考えが深まり学習のねらいに迫ることができた。
〇子どもたちと関わりのある方のお話や日々の生活場面を提示することで、子どもたちは自分のこととして考え、自分を振り返ることができた。

課題となる点もご指導いただきました。

●「考え議論する道徳」を目指し、話し合い活動を方向づけたり、深く掘り下げたりする教師の役割を明らかにしていく。
●授業評価を改めて子どもたち自身が振り返る場を設け自分の成長を自覚できるようにしていく。

5年

6年

　中小学校区の道徳教育の歩みについても、本校の特色の一つとして、研究発表の中で紹介しました。

　学校、家庭、地域が連携を深め「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、中小学校区では道徳教育実行委員会を継続し、道徳的実践を着実に積み重ねてきています。

　今年度より、学校運営協議会の立ち上げ、従来組織の再編成に伴い、地域協働活動の柱の一つとして引き続き道徳教育を進めていること、様々な場面での地域の皆様からの力強く温かいご支援・ご協力が大きな支えとなっていることが中小学校の強みと言えます。

ほほえみ

研究紀要リーフレットより

地域道徳教育

地域ぐるみで取り組む道徳教育

研究内容（２）に関わり･･･豊かな体験を通して、児童に自己を見つめる力と他を思いやる心を育てるため、学校・家庭・地域が連携を図り、より意図的、計画的な道徳的実践を推進してきた。

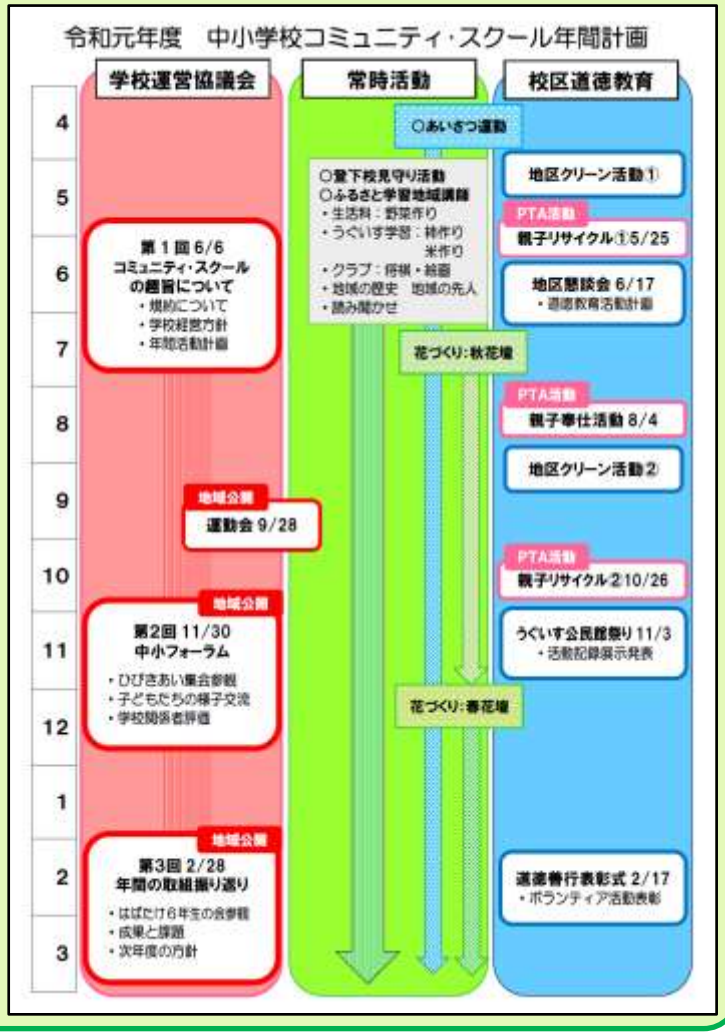
校区道徳教育実行委員会

今年度より

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

サルビア花飾り事業

公民館・老人クラブと協力し、花の世話を通して優しい心と奉仕の心を育む。

５年「米作り」

中小水稲栽培体験学習組織の皆さんの指導により、ふるさとへの愛着を育む。